

※時間と配点は実際の入試と異なる場合があります。

鳥取県

愛媛県

(二) 次の1～4の各文の——線の部分の読み方を平仮名で書きなさい。

- 1 軽率な行動をとらない。
- 2 選択教科を履修する。
- 3 新たな事業を企てる。
- 4 我が身を省みる。

(三) 次の1～4の各文の——線の部分を漢字で書きなさい。ただし、必要なものには送り仮名を付けること。

- 1 会長にしゅうにんする。
- 2 船のきてきが聞こえる。
- 3 この薬はにがいで飲みにくい。
- 4 料理を器にもる。

次の各問いに答えなさい。

問一 次の——の部分の読みを、ひらがなで書きなさい。

祖母の柔和な顔を見て安心した。

問二 次の——の部分のカタカナと、同じ漢字を使う熟語を、後のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

織イ製品を輸出する。

- ア 現状をイ持する。 イ イ大な人物と会う。
- ウ 規則にイ反する。 エ イ産を受け継ぐ。

問三 次の□には、打ち消しの意味をもつ同じ漢字が一字入ります。その漢字を書きなさい。

- 能 □ 許可 傍若 □ 人

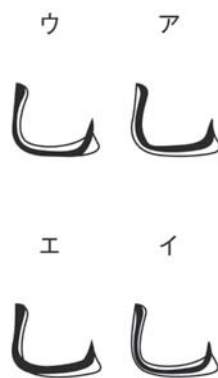
問四 「臓」の字を構成している部首名を書きなさい。また、その部首の意味を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 気持ちに関するもの イ 体に関するもの
- ウ 植物に関するもの エ 光に関するもの

問五 次の書き出しで始まる作品名を、漢字で書きなさい。

「春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、少し明かりて、紫だちたる雲の、細くたなびきたる。」

問六 毛筆を用いて、「地」を楷書で書くとき、最後の画を書く筆使いとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。なお、濃い部分は、筆の穂先を示すものとします。



問七 次の文章の□に入る、最も適当な単語を書きなさい。

美花さんの弟は、子ども会の行事で雲取山に出かけています。美花さんは、ラジオのニュースを聞きながら、どきりとししました。そのニュースは、次のように伝えていました。

「今日、雲取山で、『山頂に続く尾根道から子どもが転落した。』との連絡を受け、地元の警察署と消防署が協力して子どもを救助する、という訓練が実施されました。雲取山では、この二年間で、三人の登山者が転落する事故が起きており……。」

美花さんは、「このニュース放送で、□という言葉を初めの方に聞いていれば、安心できたのに。」と考えました。

解 答

鳥取県

問一	にゅうわ	問二	ア	問三	無
問四	(部首名)	にくづき	(意味)	イ	
問五	枕草子	問六	エ	問七	訓練

愛媛県

(三)	(二)
1 就任	4 1 けいそつ
2 汽笛	かえり(みる)
3 苦い	2 りしゅう
4 盛る	3 くわだ(てる)